

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	260				
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課	所 属 長	川島 英和
事務事業名	00650 国際親善推進事業	記 入 者	小西 亜美		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称		根 拠 法令等	大津市国際化推進大綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします			
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進			
	視点	01	国際交流の推進			
	重事	01	姉妹都市・友好都市等との交流の推進		関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称			コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期	
	一般会計	政策	評価対象事業	国際親善推進費		
	一般会計	会計	人件費事業	会計年度任用職員雇用経費		
事業の概要	姉妹・友好都市を始めとする諸外国との友好親善を図るため、外国人来訪者の受け入れ等に対応する。 また、学校等において国際文化理解教室等を開催し、市民の国際感覚の向上を図る。					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	諸外国の文化や風習に対する理解を深め、グローバル化社会に対応するため
対象 (何又は誰を)	市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	姉妹友好都市等を始めとする諸外国との友好親善を図るほか、国際文化理解教室を開催することにより
成果 (どのような状態にするのか)	相互理解を深め、国際性豊かな感覚を身に付ける

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,204	4,540	3,425	3,854	3,854	
人件費 B		5,625	5,685	2,765	2,765	2,765	
事業費合計 A+B		6,829	10,225	6,190	6,619	6,619	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	4	2	0	4	4	頒布代「近江八景の幻影」
	一般財源	6,825	10,223	6,190	6,615	6,615	
職員数(人)		1.00	1.00	0.65	0.65	0.65	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.15	0.15	0.15	
	嘱託	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.50	0.50	0.50	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	諸外国からの訪問団受入回数	回	目標	5	5	5	5	5
				実績	6	4	0	-	-
	公式訪問者受入回数								
	2	国際文化理解教室の開催回数	回	目標	65	65	65	65	65
実績				141	142	35	-	-	
学校・園訪問や出前講座における開催回数									
成果指標	1	諸外国からの訪問者受入人数	人	目標	30	30	30	40	40
				実績	41	39	0	-	-
	公式訪問者受入人数								
	2	国際文化理解教室の受講者数	人	目標	2,050	2,050	2,050	4,000	4,000
実績				3,729	3,828	793	-	-	
教室の受講者数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、訪問団の受入等従来の国際交流事業の実施が困難となっており、新しい交流のあり方を模索する必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	姉妹都市とのオンライン交流事業を試験的に行ったほか、学校や園等における国際文化理解教室では対象年齢を限定し、子どもたちとの身体的な接触を極力減らすよう内容の見直しを行った。		
項目別評価	評 価	評 価 理 由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	諸外国からの訪問団との市民交流を促進しているほか、国際文化理解教室の開催により、市民に国際文化に触れる機会を提供できている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染症感染拡大による交流事業の中止等の影響を受け、成果指標に掲げた数値目標は達成できなかった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	大津市国際親善協会への委託化により事業を効率よく推進できている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	訪問団との交流や国際交流員による教室を通じて、市民の国際意識の向上に貢献できている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	平成31年度より本業務の一部を大津市国際親善協会に委託している。市民主体の国際交流事業を今後も継続できるよう、市では引き続き姉妹友好都市との連絡調整等を行うほか、市民の国際理解を促進するため、国際文化理解教室の開催を継続して実施していく。
部局長コメント	学校等における国際文化理解教室の開催や、市民団体等の国際交流活動により、市民の国際理解を深めることは重要であると考えており、今後も主として市民主体の国際親善交流に努めること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区 分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目 標 達成率	指標1	136.66 %	130.00 %	0.00 %
	指標2	181.90 %	186.73 %	38.68 %
成 果 増減率	指標1	- %	-4.87 %	-100.00 %
	指標2	- %	+2.65 %	-79.28 %
活動単位コスト	指標1	1,138 千円	2,556 千円	0 千円
	指標2	48 千円	72 千円	176 千円
成果単位コスト	指標1	166 千円	262 千円	0 千円
	指標2	1 千円	2 千円	7 千円
コスト増減率		- %	+49.31 %	+134.56 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	261	
部 局 名	産業観光部	所 属 名
事務事業名	00648 国際親善協会組織強化事業	所 属 長
		記 入 者

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市国際化推進大綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	02	多文化共生社会への取組		
重事	01	多文化共生の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	大津市国際親善協会組織強化事業費	
事業の概要	市内最大の民間国際交流団体である（公財）大津市国際親善協会の運営を支援することにより、市民主体の国際交流、国際協力活動等の推進を図るもの。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市民主体の国際交流、国際協力活動を推進するため
対象 (何又は誰を)	(公財) 大津市国際親善協会を対象として
手段 (どのようなやり方で)	補助金交付等、運営に対する支援を行い
成果 (どのような状態にするのか)	地域の国際化と市民の多文化に対する理解の促進を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		17,336	7,997	16,945	7,040	7,040	
人件費 B		2,812	2,842	2,817	2,817	2,817	
事業費合計 A+B		20,148	10,839	19,762	9,857	9,857	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	5,300	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	14,848	10,839	19,762	9,857	9,857	
職員数(人)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員数の内訳	正規	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
	嘱託	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
活動指標	1	会員登録ボランティア数	人	目標	115	115	115	115	115	
				実績	133	91	51	-	-	
	国際親善協会会員でボランティア登録している人数									
	2				目標					
実績										
成果指標	1	ボランティア活動参加者数	人	目標	170	170	170	140	140	
				実績	200	143	60	-	-	
	ボランティア登録者で実際に協会ボランティア活動に参加した人数									
	2				目標					
実績										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民の草の根交流を通じて、諸外国との友好親善・相互理解が図られており、市民との協働による国際交流活動を推進していく必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	大津市補助金適正化基本方針に基づき策定した交付基準により、平成26年度分より施設管理費等の補助率を見直している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input type="checkbox"/> A. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市民を主体とした国際交流活動や多文化理解につながる事業を行う団体に対し、運営の支援を行うことは、地域の国際化の推進につながる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	新型コロナウイルス感染症の影響により国際交流イベント等の催しを中止したことから、当初予定していた市民の国際交流の機会を創出することができなかった。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	補助金を減額しているが、事業内容を縮小することなく運営されている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input type="checkbox"/> A. 貢献している <input checked="" type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	事業実施は予定どおりできなかったが、新型コロナ取戻後の事業再開を見据えた多文化共生や国際交流の推進のための取組を行っている。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民ニーズに適應した事業の展開や新規ボランティア会員の開拓等により当該団体の自立化を促す。平成31年度より本市の国際交流事業の一部を委託しており、今後も公益財団法人大津市国際親善協会との役割分担等効率的な業務遂行のあり方について引き続き検討を行っていく。
部局長コメント	補助金の交付基準に基づき、適切な支援を継続していくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	117.64 %	84.11 %	35.29 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-28.50 %	-58.04 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	151 千円	119 千円	387 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	100 千円	75 千円	329 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-24.75 %	+334.53 %

令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	262		
部 局 名	産業観光部	所 属 名	観光振興課
事務事業名	00654 多文化共生推進事業	所 属 長	川島 英和
		記 入 者	小西 亜美

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市国際化推進大綱
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り	関連する個別計画	
	政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします		
	施策	02	多文化共生・国際交流の推進		
	視点	02	多文化共生社会への取組		
重事	01	多文化共生の推進			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	多文化共生推進事業費	
事業の概要	国際化の進展に伴い外国籍市民が増加する中で、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的差異を認め合いながら地域社会の一員としてともに生きていく「多文化共生」社会の実現を目指す。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	地域に住む外国人が安心して暮らせる環境を整備し、外国人との共生社会を実現させるため
対象 (何又は誰を)	日本語によるコミュニケーションが困難な外国人や日本人市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	行政文書の多言語化や窓口等への通訳派遣などを行うほか、関係団体との多文化共生推進事業の共催等による啓発活動の充実を図ることにより
成果 (どのような状態にするのか)	地域住民としての外国人に平等な行政サービスを提供することができるほか、日本人市民の異文化理解力や異文化コミュニケーション能力の向上を図ることができる

< 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		514	1,416	1,218	1,431	1,431	
人件費 B		4,862	4,917	1,587	1,587	1,587	
事業費合計 A+B		5,376	6,333	2,805	3,018	3,018	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,376	6,333	2,805	3,018	3,018	
職員数(人)		0.75	0.75	0.35	0.35	0.35	
職員数の内訳	正規	0.50	0.50	0.10	0.10	0.10	
	嘱託	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.25	0.25	0.25	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	翻訳・通訳サポーター登録数	人	目標	108	108	108	95	95
				実績	88	105	65	-	-
	翻訳・通訳のサポーター登録をしている人の数								
	2	関係団体との共催事業の実施回数	回	目標	5	5	5	5	5
実績				13	2	0	-	-	
多文化共生推進にかかる共催事業実施回数									
成果指標	1	行政文書翻訳件数	件	目標	100	100	100	100	100
				実績	115	40	64	-	-
	行政文書を翻訳した件数								
	2	多文化共生推進事業への参加人数	人	目標	1,400	1,400	1,400	2,100	2,100
実績				1,895	2,100	0	-	-	
主催・共催事業への市民の参加人数									

